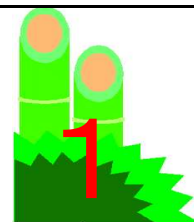




F o r e s t 通 信



林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

No.300

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。フォレスト通信も今月号で300号を迎えました。この間、時代の変化もあり、第1号が出た頃と比べると記事の内容も大きく変わっていると思います。特に、近年は小学校からの森林教室の依頼が増えており、記事も自ずと森林教室の紹介が多くなっていると思います。私たちの活動がようやく地域に浸透してきたと感じています。今年は昨年以上に依頼が増えるよう、森林教室の内容の充実に一層努めたいと思います。サポートして頂いているボランティアの皆さんには、引き続きご協力をお願いしたいと思いますし、本誌をご覧の皆様も応援して頂ければ幸いです。

2014年 元旦 高尾森林ふれあい推進センター所長 関下 俊則

巻頭 photo **高尾山の生きものたち**



ジョウビタキ(ヒタキ科)

今月号は新年号ですから、本年も読者諸賢に大いに飛躍していただきたいという願いを込めて、冬鳥のジョウビタキの羽ばたく瞬間をご紹介します。

裏高尾町での撮影で、この鳥の止まり木を見つけ、どちらの方向に飛び立つかを見極めた結果、左方向に飛び立つことがわかりました。前面にピントを合わせて飛び立った瞬間、シャッターを数十枚押してやっと撮れた1枚です。今年も粘りで撮影に挑戦！

(写真・文 大作栄一郎氏)



高尾森林ふれあい推進センターは、皆さんが高尾山の自然に親しみ、森林や林業に理解を深めるための諸活動を行っています。



中学生の職場体験学習

職場体験学習とは、中学校等の教育課程の特別活動・総合学習などの枠内で生徒たちに地域社会のさまざまな事業所などで職業の現場を体験させることです。文部科学省は生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動を推進しており、公立中学校の約90パーセントで職場体験が実施されています。

本年は8月28～29日に江東区立深川第八中学校2年生5名、9月18～20日に八王子市立恩方中学校2年生2名、9月25～27日に同市立横山中学校2年生3名、11月26～28日同市立浅川中学校2年生4名の4校14名が職場体験学習を体験しました。

当センターでは、教育活動の一環として、間伐や炭焼きの体験、造林・製品生産現場の監督や境界巡視などの森林官の業務、森林教室の補助業務などの林業体験を組み入れた2日から3日の職場体験プログラムを実施しています。

当日は初めて林業体験に参加する生徒たちばかりで、間伐では伐倒したスギを玉切りして搬出し、その重さに驚き、製品生産や造林の請負作業現場では作業されている方からの仕事の苦労話を聞き、森林教室の補助では小学校5年生の面倒を見たりしました。普段はできない事を通して、森林・林業の大変さと大切さを知ることができる林業の職場を体験できたと思います。

なお、平成26年3月に八王子市立ひよどり山中学校の3名の職場体験を予定しています。



生産現場の見学



森林カレッジ卒業生が小学校の講師

当センターは、神奈川県大和市内の小学校から、「カルチャークラブ講座」の講師依頼を受け11月30日、小学校1～6年生60名(2教室)を対象にフォレストサポート高尾(FS高尾)8名と職員1名を派遣し、出前森林クラフト教室を実施しました。FS高尾のスタッフは、事前にアシスタントとなるお母さん方を当センターの木工体験室に集め、デモンストレーションや身近にある木の実や小枝等を用意するなど入念な準備の上、テキパキとした指導で、子どもたちは思い思いの作品を製作しました。

参加した子どもたちは、15講座のうちから1講座を選び体験するもので、当講座は募集数40名に対し60名の希望者があり、大変人気の講座となりました。

防犯係として巡回しているお母さん方は、教室に立ち寄ると、「わあーすごい」、「とてもすてき〜」、「私たちもやりたい」など、興味津々の氣勢を上げていました。

当センターでは、毎年度、「森林カレッジ」を年4～5回開催し、多くの卒業生を輩出しています。卒業生の一部はFS高尾を結成し、ボランティアで当センターに係るイベントの補助や地域の森林整備にも取り組んでいます。(いつもありがとうございます。(か))



先生教えて～



作品と一緒に記念撮影

森林教室

渋谷の小学生が 森林体験

冬の気配が深まってきた12月の初め、渋谷区の加計塚小学校4年生の皆さん69名が高尾に森林体験に来ました。都会の子供達なので山に入るのを怖がっているのではと思い開校式で聞いてみたところ、ほとんどの子供が楽しみにしていたようで安心しました。森林散策は1時間半近くの行程でしたが、「疲れた」という子も出ず、みんな楽しかったと言ってくれました。森林教室では、森林の働きを紹介したアニメのビデオを食い入るように観ていました。また、丸太切りでは、ノコギリの使い方に慣れている子が多く、何枚も切り落としていました。短い時間でしたが、森林の中で楽しい時間を過ごせたのではと思います。



間伐の大切さについて学ぶ

公募イベント

つる切りと つるかご編み体験

12月14日(土)、大平森林ふれあい館において、つる切りとつるかご編み体験を実施しました。今回100名をこえる応募があり、その反響の大きさに驚きました。

当日は都合によりつる切りを森林散策に変更し、午前はふれあい館周辺の散策、午後はつるかご編みという日程で行いました。

散策は、普段は森林教室で使用するコースで行いました。参加者は冬晴れの中、いろいろな発見をしながら楽しそうに歩いていました。

かご編みは職員の説明や指導をうけながら行いましたが、すぐにコツをつかんだようでそれぞれ楽しみながら編み、作品を完成させていました。

「のんびり過ごせてよかった」という感想もあり、皆さんに満足していただけたようで良かったです。



和気あいあいのかご編み

森林教室

小学生の炭焼き体験

年末も押し迫る12月20日(金)、高尾森林ふれあい推進センターの職員3名が横浜市立谷本小学校に竹割り体験の出前講座に出かけました。

簡単な開講式の後、森林クイズを子どもたちの外、先生方も交えて行いましたが、正答率の高さに驚きました。やはり自前の里山(谷本の森)があるだけあって、自然に習って覚えているのでしょうか？その後、各クラス毎に、「竹割り組」、「節取り組」、そして、「束ね組」に分かれて時間で交代することにより、それぞれのクラスが全員が取り組むことができました。感想を聞いてみると、「竹割り器はとても重かったけれどズパッと割れて気持ち良かった」、「ハンマーで節を叩いて取るというのは初めての経験で、とても面白かった。」

「束ねる時にみんなで協力しないとうまくいかないことがわかった」との回答がありました。

ちなみに今回割った竹は来年度に高尾に来て炭を焼く材料です。



うまく割れるかな？

2013年を振り返る

高尾森林ふれあい推進センターに名称が変わった節目の年、2013年に実施されたイベントを一部振り返ります。

1月



森林カレッジⅣ

「国内外の森林事情」について学びました。

2月



高尾山で炭焼き体験

伏せ窯とドラム缶窯を使い、竹炭を作りました。

3月



森林カレッジⅤ「炭焼き体験」

平成24年度最後の森林カレッジ。受講生に修了証および受講証明書が授与されました。

4月



高尾山で春の野草を探す

スミレ類をはじめ、初春の花々が咲き乱れる日影沢周辺で、解説員の植物解説に聴き入りました。

5月



森林カレッジⅠ「森を見る」

平成25年度最初の森林カレッジ。環境問題と森林について学びました。

6月



小学生の森林教室

デモンストレーションで職員が切った材木を力合わせて運びました。

7月



森林カレッジⅡ「下刈」

炎天下の中、持ち慣れない鎌を使い慎重に下刈作業を体験しました。

8月



子ども樹木博士とクラフト体験

樹木の名前をたくさん覚えて樹木博士の試験に挑戦しました。

9月



小学生の森林教室

丸太切りは小学生に大人気。みんな真剣そのものです。

10月



森の料理教室とクラフト体験

ほだ木から直接シイタケを収穫するという貴重な体験ができました。

11月



森林カレッジⅢ「間伐」

森林を健やかに保つための間伐作業を体験しました。

12月



つる切りとつるかご編み

昼食の時間も惜しんで玄人はだしの作品を編み上げる人も。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年は台風が連続して日本列島に接近したり、何かと災害の多い年でしたが、今年は穏やかな年になるよう元旦の朝に願いました。本年もよろしくお願いいたします。(ま)

Forest通信 No.300

発行：高尾森林ふれあい推進センター

Forest通信へのご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問い合わせ先

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

